

2022年度

韓国（ソウル） 留学報告書

留学先： 慶熙大学

留学期間： 9月26日 ～ 2月27日

新潟国際情報大学  
国際文化学科  
学籍番号：21019053  
氏名：佐藤優樹

## 目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	3
4-1. 留学のスケジュール	3.4
4-2. 留学の詳細	4.5.6
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省点・課題	6
7. 謝辞	7

## 1. 留学先及び実習期間

留学先：慶熙大学

留学期間：令和4年9月26日（月）～令和5年2月27日（月）

## 2. 留学先概要

### (1) 大学について

1949年に設立され、2万人以上が在籍する総合大学である。ソウル、水原（スウォン）、光陵（クァンヌン）の3つのキャンパスがあり、21の単科大学、7学部、81学科と6つの専門大学院、9つの特殊大学院が設置されている。

世界各国の大学と提携を結び、毎年多くの学生を送り出し、受け入れるなど、国際教育に力を入れている。

### (2) 大学で行われている教育について

ソウルキャンパスにある国際教育院では、留学生に対し、現地の学生が1対1で韓国語学習や生活をサポートする、トウミ制度（チューター制度）がある。語学堂での授業以外にも、現地学生との交流を通じて語学力の向上が期待できる制度である。韓国語授業では、6段階のレベルでクラス分けされ、基礎的な文法から応用的なスピーキングまで徹底した授業を受けることができる。

## 3. 留学目的

今回の留学での目的は、語学力の向上だけでなく、現地での新たな経験や発見から、自分自身を成長させることであった。5か月という長い期間であるからこそできることに挑戦し、韓国文化への理解を深めるとともに、自身の学んだことを活かしながら生活することを目標としていた。

## 4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

### 4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
9	26	到着、入寮
	27	オリエンテーション
	28	授業開始、学祭
10	4	セミナー授業開始

	8	汝矣島（ヨイド）花火大会
10	9	セミナー授業 調査（COEX アクアリウム）
	22	景福宮
	29	ロッテワールド
11	4	セミナー授業 調査（昌徳宮）
	19	エバーランド
12	5～6	期末試験
	7	文化学習 クリスマスカード作り
	8	修了式
	11～ 13	済州島旅行
	15	冬学期開始
1	14～ 15	釜山旅行
2	21～ 22	期末試験
	23	文化学習 スマホグリップ作り
	24	修了式
	27	帰国

i) 学祭について

学生が企画したコーナー、本格的な料理を楽しむことができる出店など、賑わいをみせていた。KPOP アイドルや歌手の公演も行われ、日本の学祭とは違った雰囲気を感じることができた。

ii) 休日の過ごし方

授業がない土日、祝日は、韓国の有名な観光地やカフェ巡りをした。景福宮では、韓国の伝統衣装であるチマチョゴリを着た。目でみるだけでなく、実際に体験し、韓国文化への理解を深めた。韓国には、カフェ文化が発展しており、街中には、至る所にカフェがある。勉強の息抜きや勉強場所に最適なカフェが多いため、よく利用していた。冬学期からは、釜山や済州島など、ソウルから離れた観光地に行った。

#### 4-2. 留学の詳細

<時間割>

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語	韓国語
午後		セミナー		文化授業	

### <授業概要>

#### i) 韓国語授業

韓国語の授業は、週5日9時10分～13時まで。合間に10分休憩を挟み、4限編成で授業を行なう。1, 2限は文法授業、3, 4限はリスニング&スピーキング授業・リーディング・ライティングを日替わりで行なう。中級の授業では、韓国語で重要となってくる文法を勉強するため、習う文法が多い。学期の中間には、pptを用いて発表する時間もある。

文法の授業では、問題を解きながら文法の使い方を学ぶ。授業後に毎日、予習をしておくことで授業での理解度が高まる。

リスニング&スピーキングは、先にリスニング問題を解き、リスニングに出てきた表現を用いて、実際に会話を行なう。ペアで習った文法を用いて会話文を作り、会話練習を行なうため、会話力を鍛えることができる。スピーキングの授業では、2課終わるごとに、小テストが行われる。ペアを組んで、その場で会話文を作成し、学んだ成果を発表する。

リーディングは、教科書の長文を読み、読解力を鍛える授業である。スピーキングとは違った様々な文法表現が用いられているため、単語だけでなく、新たな文法表現も学ぶことができる。

ライティングは、実際に自分で作った文を原稿用紙に書く授業である。原稿用紙の書き方だけでなく、先生方に細かく指導してもらえるため、正しい書き言葉の表現方法を学ぶことができる。

#### ii) セミナー

毎週火曜日の14:10～16:00に行われる。1学期3回、テーマに沿って調査し、発表を行なう。授業は、全て韓国語で行い、調査は、現地調査やアンケート調査で情報収集を行なう。最終的にはpptを用いて調査した成果を発表する。

#### iii) 文化授業

2022年度は、コロナウイルスの影響もあり、オンラインで行われた。文化授業は、いくつかの項目の中から自分の興味がある課目を選択することができる。

秋学期は、韓国の旅行地について学ぶ授業を選択した。あらかじめ用意された映像や資料をみて、韓国の観光地やカフェ、ご飯屋について知ることができる。

冬学期は、韓国の音楽文化について学ぶ授業を選択した。ジャンルや季節ごとに曲を紹介してくれる。歌詞の意味を細かく解説してもらえるため、曲の理解を深めることができる。新しい曲から古い曲まで幅広いジャンルを扱っているため、様々な曲を新たに知ることが

できる。

#### iv) 学期末文化学習

学期末ごとに行われる文化学習。コロナウイルスの影響のため、2学期とも教室で行われた。秋学期は、クリスマスカード作り、冬学期は、スマホグリップ作りを行なった。この授業では、1学期の間一緒に勉強してきた友人たちや先生と、交流を深めることができる。

#### v) 学期末考査

文法、リスニング、スピーキング、リーディングの4科目を2日にわけて行なう。

#### vi) 修了式

秋学期、冬学期ともにクラスごとで修了式を行なった。修了証を受け取り、最後にクラスの友人たちや先生方に挨拶を行なう。寄せ書きを書いたり、写真を撮ったりと思い出を作る重要な時間である。

### 5. 当初目的・目標への達成度

当初の目的の一つであった、語学力の向上は大いに感じられた。授業だけでなく、普段の生活で韓国語を使っているうちに、自然と口から韓国語がでるようになるまで身についた。ここまで韓国語が上達できたのは、韓国語を使わなければいけない状態にあり、知っている韓国語でどれだけ伝えることができるか試す機会が多かったためである。トウミ制度のおかげもあり、韓国人と過ごす時間も多かったため、習った韓国語を活かし会話することができた。また、韓国でしかできないことに積極的に挑戦し、学んだことを活かしながら生活することもできた。この5か月間で、自分が気になった場所やしてみたいことは、実際にみて、体験したことで、異文化理解を深めることができ、充実した時間を過ごすことができた。そして、留学前よりも積極的に行動するようになり、今回の留学を通して、語学力の向上とともに、自分自身も成長することができた。

### 6. 反省点・課題

留学先で生活するのに費用がかかるため、初めは、節約を行なっていたが、節約によってストレスを感じるがあった。節約をすることは大切なことではあるが、極度に食費を抑え、外出をせずにいるとストレスを感じてしまうため、節約は控えめに行なった方が良い。秋学期では、食費を抑え、外出も控えていたため、勿体なかったと感じた。留学はあっという間に終わってしまうため、現地の観光地やカフェにいったり、様々な景色をみて、体験するべきである。土日だけでなく、授業後も十分に時間があるため、様々な場所に行ってみるべきである。初めは、生活用品を購入し、節約をしなければならない時期ではあるが、金銭管理を行ないながら、留学生活に後悔がないよう十分に楽しんでほしい。

## 7. 謝辞

今回私たちが快く受け入れてくださった慶熙大学のみなさま、私たちの留学生生活を現地でサポートしてくださった先生方、心より感謝を申し上げます。そして、留学前からサポートしてくださった学務課のみなさま、申銀珠先生、吉澤先生にも深く感謝いたします。そして、今回留学が実現できたのは、本学からいただいた奨学金のおかげです。誠にありがとうございます。皆さまのサポートがあってこそ、安全に充実した留学生生活を送ることができました。今回の留学生生活を活かし、今後も日々精進してまいります。素晴らしい機会を与えてくださり、誠にありがとうございます。

